

# 議案等の件名・主要内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主要内容		議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論。	会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会											
種類番号	件名			議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈		
9月定例会(会期：9月1日～9月25日・25日間) 議案等				結果	○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択																	
議第66号	損害賠償額の決定について	市は、道路陥没による物損事故に起因する損害防止に関し、損害賠償の額を62万4,250円と決定する。	問 名鉄の点検が、なぜ今の段階になったのか。雨水排水管の経年劣化という説明があったが、全市道の点検が必要と考えるがどうか。 答 道路賠償責任保険で手当てをしたため。市内において、土管の埋設管の把握はできていないが、ほぼヒューム管に代わっているものと考えている。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第67号	令和2年度高浜市一般会計補正予算(第9回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ62万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ227億4,591万7,000円とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第1号	令和元年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 171億5,054万9,000円に対し、 歳入決算額 170億8,307万4,591円(99.6%) 歳出決算額 161億4,872万7,784円(94.2%)	令和元年度歳入及び歳出について、多岐にわたり質疑あり。 ※詳しくは、ホームページより決算特別委員会会議録参照	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	
認第2号	令和元年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 33億6,052万円に対し、 歳入決算額 33億5,878万4,632円(99.9%) 歳出決算額 32億9,525万4,633円(98.1%)	問 短期被保険者証等発行について申出があった方全員に発行できているのか。 答 税負担の公平性の確保の観点から必要な対応と考えて実施しており、今後も一定の条件に該当する世帯の方には発行を継続してまいります。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
認第3号	令和元年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 5,036万3,000円に対し、 歳入決算額 5,036万 565円(100.0%) 歳出決算額 66万7,208円(1.3%)	質疑なし	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第4号	令和元年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 9,557万4,000円に対し、 歳入決算額 9,276万8,732円(97.1%) 歳出決算額 2,480万4,528円(26.0%)	質疑なし	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第5号	令和元年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 28億4,214万2,000円に対し、 歳入決算額 28億 132万2,711円(98.6%) 歳出決算額 27億4,277万4,437円(96.5%)	賛成 7期計画の2年目、保険給付費が計画値に対して98.2%。8期計画に向けてアンケート調査を取り組んでおり評価。 反対 制度が始まって20年、その間介護保険法改正で軽度者切り捨てや特養に原則要介護3以上でなければ入れないなど改悪が続いた。保険料も高額で負担が重い。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
認第6号	令和元年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 5億473万2,000円に対し、 歳入決算額 5億 202万9,350円(99.5%) 歳出決算額 4億9,428万9,698円(97.9%)	賛成 高齢化が進み、医療費の増加が見込まれる中、国民皆保険制度の持続可能な制度の維持と適正な運営を要望。 反対 改正による約10%の引上げに伴う、低所得者の軽減措置の縮小と低所得者の方たちの保険料が高額となる。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
認第7号	令和元年度高浜市水道事業会計決算認定について	○収益的収入及び支出:収入予算額8億9,294万3,000円に対し、決算額9億1,376万3,478円。支出予算額8億3,385万6,000円に対し、決算額7億6,525万7,185円。 ○資本的収入及び支出:収入予算額1億781万7,000円に対し、決算額1億2,542万4,480円。支出予算額4億4,509万3,000円に対し、決算額3億6,991万7,221円。	賛成 有収率は97.13%という県内の平均値より、高い値を示している。計画的な管路更新や漏水対策によるもので、経営努力を評価できる。 反対 本市の水道は、県から100%受水している。昨今の水需要にマッチしない多大な投資を改めるように、県に求めたい。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	令和元年度高浜市下水道事業会計決算認定について	○収益的収入及び支出:収入予算額9億2,144万円に対し、決算額9億2,610万513円。支出予算額8億7,847万8,000円に対し、決算額8億7,003万2,209円。 ○資本的収入及び支出:収入予算額10億2,764万2,000円に対し、決算額10億2,775万7,290円。支出予算額12億9,163万1,000円に対し、決算額12億6,439万4,244円。 ○特例的収入及び支出:収入予算額7,713万8,000円に対し、決算額7,463万3,872円。支出予算額2億4,124万2,000円に対し、決算額2億4,124万1,669円。	賛成 全体計画に占める整備面積の割合は6割ほどであり、引き続き未整備区域の鋭意進捗を図り、公共用水域の水質保全に努めていただかなければならない。 反対 多額の費用を要するので、起債が膨れ上がる。汚水処理単価が安価とされ、かつ環境問題にも対応できる合併浄化槽の利用を求めたい。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報第7号	令和元年度健全化判断比率及び公営企業資金不足比率について	○健全化判断比率:実質赤字比率、連結実質赤字比率共に赤字比率なし。実質公債費比率△0.4%、将来負担比率0.7%。 ○公営企業資金不足比率:下水道事業会計、水道事業会計共に資金不足比率なし。	報告事項のため質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
報第8号	専決処分の報告について	市道渡船場線の道路陥没事故に関し、損害賠償の額を27万9,575円と決定した。	報告事項のため質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
陳第2号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	①少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画を早期に策定し、実施すること。②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ復元すること。以上、2点の意見書を国に提出することを求める。	賛成 子供たちに向き合い、きめ細やかな指導をするためには、定数改善計画の早期・策定実施が必要であると考える。また、義務教育費国庫負担制度の堅持と国庫負担率2分の1の復元、教育の一定水準確保のためには必要と考える。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳第3号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成制度を維持し、拡充を求める陳情	「教育の機会均等」の理念にもとづき、国・県の制度と併せて学費負担の公私格差を是正するため、私立高校生に対する市独自の授業料助成制度を維持し、拡充することを求める。	反対 私立高校は、施設も充実している。受益者負担という意味で、一定の負担はやむを得ないと考える。 賛成 未だ抜本的な解決に至ってなく、全ての子供が等しく教育を受ける権利を保障するため。 趣旨採択 趣旨は理解するが、本市においては、他市に比べても充実した助成制度になっている。	不採択	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	

※杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。